

## 学校訪問研修会 高学年部会まとめ

### 協議題

子どもが身に付けた  
力を活用し、主体的に  
学んでいくための教師  
の指導はどうあればよ  
いか

事前に付けておきたい  
力は何か？

習得したことを活用  
する場面とは？

### 国語科

児童が意見提案する授業

話す力

聞く力

書いて提案する力



全ての力  
を使う

そこに至るまでの指導内容がはつきりしない印象がある

それぞれの学年で指導すべきことは  
明示されている

5年「言葉の研究レポート」  
・レポートの書き方を型に合わせて  
書いて学ぶ。

↓  
説明文を書く単元・社会、総合で生  
かされる。

学習指導要領を確  
かめると、指導す  
べき内容がはつき  
り書かれている。

**社会科**

年表・地図を読む

**理科**

アメダス観測データ

衛星写真



以前に学習したことを想起させる

**算数科**

分度器・コンパスを使いこなす  
図形の書き方が分かる（4年）



合同な形がかける（5年）

積み重ねた力を、次の学習で活用する

**教師はどのように子どもに働きかけるか**

**社会科**

・調べ学習の仕方の指導

教科書と資料集

図書室の書籍

インターネットのリンク集

インターネットで検索

スモールステップで、  
学び方を身に付けられるようにする。

**国語科**

・意見発表→事前に個人練習  
・これまででできるようになったことを確かめる

**理科**

・資料活用場面

↑ 既習であることに気付かせる

教師が意識して働きかけることが大事

**算数科**

話す場の設定

- 自分の考えの説明をする
- 人の話を聞いて説明できるようになる



自分の考え方を説明できる力を身に付けるため

### 外国語活動

物怖じせず外国語でコミュニケーションできるようになる

安心して言えるようになるまで何度も繰り返し練習する

何を言うかが分かれば、コミュニケーションすることが楽しくなると分かる。

# 指導助言

### ICT活用

- ・ 反復練習に効果的。教師自身も使うことを楽しんでいるのがよい。
- ・ 子どもが表現する場でも、ICTを使う
  - 一論理的に表現できる力が実感できる。

### 授業の構成、指導法

- ・ 習得したことを活用し、それを日常に結びつけ、さらに探究へと学習を進めていく。
- ・ 中心発問 - どこで何を問うか  
(教科でも道徳でも)
- ・ 実感を伴った理解(理科)、算数的活動などをどう生み出すか

### 外国語活動

- ・ 評価一活動観察が中心
  - 1時間に1つか2つ
- ・ アクティビティのための時間を十分確保する。
- ・ 褒め言葉は、英語で短く

# 以上です

ありがとうございました...